

道の駅事例集

Contents

Chapter 1

● ①農業体験や農産物の「坂東ブランド」商品化（6次産業化）・・・ p. 3 ～p. 10

Chapter 2

● ②歴史文化的資産の活用・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 12～p. 13

Chapter 3

● ③自然環境の活用（桜、菅生沼、里山など）・・・・・・・・ p. 15～p. 18

Chapter 3

● ④イベントや地域資源の活用、連携・・・・・・・・ p. 20～p. 29

①農業体験や農産物の「坂東 ブランド」商品化(6次産業化)

農産物の販売・加工（6次産業化）

●「道の駅」を核とした6次産業化：道の駅もてぎ

道の駅「もてぎ」

栃木県茂木町

「もてぎ手づくり工房」では特産品である柚子、エゴマ等を加工して商品化。オリジナル商品の開発から販売までを行う。道の駅のほか、オンラインショップでも販売している。

●オリジナル商品の開発



- 保存料、合成着色料、食品添加物を一切使用せず、ひとつひとつ手づくりで製造。また地元産の新鮮な材料を使用したオリジナルアイスも人気。
- 「道の駅」が農家から柚子等を全量買い取り、手作業で加工、オリジナル商品（33種類）を開発、販売。

年間8億円ほどの売り上げ。町外から来たお客さんにたくさんの品物を買ってもらうために頑張っていること。

- 限定商品やここでしか手に入らないものに力を入れている
- 地元の人も通い続けてくれる店作りをしている
- 滞在時間を出来るだけ長く楽しんでもらえる工夫をしている

●人材育成のビジネスモデル

- ・生産者指導、買い取り制度などで高品質の農産物を確保
- ・付加価値を高めるために町内で加工。新しい商品を地元で開発する
- ・販路拡大のために町長自ら営業する。
- ・外部からの収入で収益を上げ、調達を通じて地域全体の生産額を増やす
⇒結果、道の駅の従業員は適切な給料をもらい、地域に貢献できることを誇りに感じる
⇒次の人材確保につながる

農産物の販売・加工（6次産業化）

●「道の駅」を核とした6次産業化：道の駅とみうら

道の駅「とみうら」

千葉県南房総市

地域特産のビワを加工、オリジナル商品の開発から販売までを行う。規格外品の活用や需要安定により生産農家の経営安定に貢献している。



道の駅にある「枇杷倶楽部ショップ」では、特産の房州びわ使ったオリジナル商品が数多く取り揃えてある。
びわジャム・びわゼリー・びわカレー、びわ飴などの食品のほか、ビワの葉エキスをを使用したボディソープやボディタオル、天然成分配合のルームスプレーなどびわ製品が豊富に揃っている。



- ❑ 施設内にある直営の加工場では、出荷規格外のビワを南房総エリアの地元農家から年間 15～20t 近く購入し、ジャムやソフトクリームなどを製造している。
- ❑ その他の商品は設備投資が膨らむため製造業者に委託・共同開発し、現在では 40 品目を超えるオリジナル商品を揃え、自社での販売や卸のほか、インターネット販売も展開している。
- ❑ 出荷規格外品でのオリジナル商品は、年間販売売上高の 3～4 割を占める。

農産物の販売・加工（6次産業化）

●中心市街地からのアクセスがよく、特産品加工に力を入れる

道の駅「しもつま」

茨城県下妻市

- 市内外へのアクセスに便利な立地。
- 特産品加工の工場見学ができる。（見学自由）



農産物直売所(写真左)のほか、電気自動車用の急速充電設備、展望台、レストラン、花木売り場などの施設がある。

駅内には納豆工場が併設されており、無料でガラス越しでの見学が可能。昔ながらのわら納豆やキムチ納豆など、工場内で製造された納豆は特産品コーナーで購入できる。



※平成27年9月11日にリニューアルオープン

農産物の販売・加工（6次産業化）

- 【「農業プラス観光」で人口約3,700人の村に年間約120万人が来訪。リピート率は7割：道の駅 川場田園プラザ

道の駅「川場田園プラザ」

群馬県川場村

○園内では朝取り野菜・ブルーベリーや乳製品などの地域資源を活かし、果物狩りや陶芸などの体験やイベント等により、村民と来訪者の交流の機会を提供。

大自然の恵みを活かした特徴のあるレストラン・お食事処などが多数。パンやスイーツ・ドリンクなども、川場らしい素材を使用した美味しいおやつ系もあり。

滞在の仕方に合わせて、お好みのお食事を選ぶことが出来る。歩きもお薦め。



田園プラザのパン工房



川場ビールレストラン武尊



カフェ・ド・カンパーニュ



そば処虚空蔵



麺屋「あくら」



ミート工房



かわばんち



ホテルSLのランチビュッフェ

- 人口約3700人、年間売上は約10億円、利用者数約120万人。
- 雇用創出 80名
- ファーマーズマーケットの出荷登録(420名、村内農家の93%)

農産物・花・海産物の販売・加工（6次産業化）

●季節の農作業体験

道の駅「富楽里とみやま」 ハイウェイオアシス

千葉県南房総市

- 季節の農作業体験あり
- 野菜、果物、魚、切り花、乳製品など、地元食材を活かした幅広い生産物の販売

●季節の農作業体験



たけのこ狩り(4月)



田植え体験(5月)



みかん狩り(10～12月)

- 季節ごとに応じた農作物の収穫、そば打ちなどの体験メニューを展開している。
- 参加費は、収穫した農作物をお土産として含むと800～2000円程度。

●地元グルメの販売



青倉商店
千葉県産の食材にこだわった手作り弁当のあるお惣菜屋さん



豊作市場
南房総富山地域の350名の生産者の丹誠込めた野菜や切り花が毎朝入荷



切花コーナーの壁には生産者の紹介が写真入りで詳しく掲載

- 幅広い生産物が集結し、選ぶ楽しみがある。
- 夕方の割引サービスを狙って地元民が買い物に訪れていた。
- 地元からも、来訪者からも愛される施設。

農産物・花・海産物の販売・加工（6次産業化）

●新たな商品開発による産業振興への取り組み

道の駅「季楽里 あさひ」

千葉県旭市

- 県内屈指の農産物、水産物の生産地であるにも関わらず認知度は低め。道の駅を通じてアピール。
- 基幹病院等と連携し、「医食農同源」をテーマとして、地元農産物を活用したメニュー開発など、地産地消を推進。旭中央病院栄養管理士がレシピを開発し、道の駅で試食できる。
- バイキングレストランでは地元の色々な食材が楽しめる。

●道の駅での商品開発による新ブランドづくりと、ふるさと納税による特産品の情報を発信

道の駅直売所の売り場から見える、道の駅の加工室による商品開発

県内1位の算出額を誇る産物の数々(全国でもトップクラス)

情報発信拠点である「道の駅」で展示・販売し、販路確保と知名度アップ

あなたとふるさとがつながる ふるさと納税

ふるさと納税により広域的かつ効率的な周知

●地元食材でのメニュー開発、バイキングレストランでの食事



- 野菜、肉、魚が何でもそろう旭市だからこそ、色々な食材と一緒に楽しめるバイキングが可能。



農産物の販売・加工（6次産業化）

- 地元農家を中心とした商品開発、町内の農産物販売額の15%を占める

道の駅「内子フレッシュパークからり」

愛媛県内子町

○季節の農作物にあわせて加工商品を開発販売：町内の農産物販売額の約15%を売り上げる拠点へ
○ITを導入して鮮度を追求することで、安全安心な農産物提供システムを構築

- 特産品の加工、開発販売

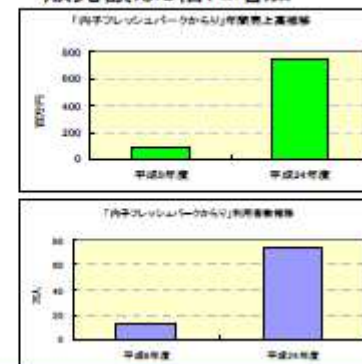


道の駅の企画・運営を支える生産者チーム

地場産品を「からりブランド」商品として販売



16年間で利用者は6倍、
販売額は8倍に増加



- 出荷システムのIT化

○出荷する地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムを導入。
販売情報が連絡され、在庫に合わせて出荷者が直接納品することで鮮度向上を追求



農産物の販売・体験農園

●トマトハウス体験圃場、農業を活かした観光

道の駅「ひたちおおた」

茨城県常陸太田市

○年間を通して摘み取り体験可能な多品種のトマトハウス(1,000㎡)を整備し、栽培管理者として県内の農業者等養成専門大学校の新卒者を雇用。将来的には市内で独立した農業経営が可能となるよう、ほ場や住居等の確保を支援。

○6次産業化や農商工連携等に取り組む意欲のある農業者や団体グループが、加工品づくりの試作や研究ができる専門スペースを設置するなど、地域の基幹産業である農林畜産業の振興を図るための拠点として道の駅を活用。



- 駅の北側に作られたビニールハウス。ここでは、トマトが栽培されている。
- 現在ハウス内では、ミニトマト、中玉、大玉と三種のトマトを育成中。
- 9月末ごろからはここで収穫されたトマトがレストランや直売所にならぶ予定。
- 11月ごろからはハウス内で摘み取り体験ができるようにしたいと検討中。

②歴史文化的資産の活用

歴史・伝統を伝える

●高速道路施設（SAPA）と連携、近接している施設・歴史や文化を伝える施設の整備

常磐自動車道南相馬市サービスエリア利活用拠点施設「セデッテかしま」

福島県南相馬市

- 常磐自動車道 南相馬鹿島SAに隣接し、南相馬市が運営する「南相馬市サービスエリア利活用拠点施設」である。常磐自動車道からも利用可。
- 伝統の祭り「相馬野馬追」をロビーにて紹介



一千有余年の歴史を経て今なお息づく伝統の祭り「相馬野馬追」をロビー紹介しており、魅力的な地域の伝統を伝えるための工夫がなされている。



エントランスホール
勇壮な相馬野馬追の騎馬武者(実寸大)がお出迎え

勇壮な壁面には、モニターによる相馬野馬追祭の放映、
また、写真、絵画、切り絵を展示

地域文化の体験メニュー

●地域在住外国人等によりインバウンド観光対応 史実・文化を活かした観光拠点 年間約350万人の集客力

道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」

宮城県大崎市

- 地域資源(伊達正宗の史実・文化等)を地域在住外国人や語り部等を活用しインバウンド観光を促進する観光拠点を構築。
- 「道の駅」と岩出山地区(町内)・温泉を結ぶ周遊交通を確保。温泉・地域資源をパッケージ化した独自観光商品を開発・販売。
- 鳴子峡や温泉郷を「見る観光」、地域の文化・芸能を「知る観光」に組み込み、高いレベルの観光を提供。



●観光ルートの創設 魅力あるオプション付き

- 地域の史実・文化(知的好奇心)に基づく観光ルートの創設。
- 地域在住の人的資源(外国人、語り部)を活用した観光案内



- 周遊コミュニティ交通の確保
- 温泉、地域資源をパッケージ化した観光商品の開発

③自然環境の活用

（桜、菅生沼、里山など）

農産物の販売＋田園風景

道の駅 多古「あじさい館」

千葉県香取郡多古町

国道296号と栗山川の交差する多古大橋のたもとに位置し、水平に伸びる田園風景の中にある。
ふれあい市場では、多古米をはじめとする新鮮・朝採り野菜や地元酪農家の牛乳やアイスクリームを販売。



1階は多古米、産直など特産品をメインにした販売と、休憩・情報コーナー、軽食コーナーがある。
2階は多古米や大和芋など地域の特産品を使ったお食事を提供。
栗山川の田園風景の望める展望ラウンジがある。



日本の米作り100選にも選ばれた食味が自慢の多古米をはじめ、特産品である大和芋・サツマイモ・トウモロコシなど季節の新鮮な農産物や果物を販売。また手作り味噌・漬物などの加工品、多古町の地酒、多古米を使ったおにぎりや弁当もご用意。



河川を利用した川の駅

道の駅・川の駅「水の郷 さわら」

千葉県香取市

地域特産品の直売や河川を利用した各種レクリエーション、また防災教育や観光情報など、「水」と「人」とのふれあいの場を提供すると共に、様々な情報を発信する総合施設。



学 防災教育展示
利根川が洪水！
どうしたらいいの？

私たちの暮らしにたくさんの恵み、楽しさをあたえてくれる利根川。しかし、時には恐ろしい川へと変化することもあります。過去の水害の記録や利根川の特徴、川の近くではどんなことに気をつけたらいいの？など、いざというときにあわてず、安全な暮らしをおくるためのヒントを楽しくご紹介しします。



遊 佐原河岸・水辺交流センター
利根川を望む
多様なレジャースポット

ふれあい水路
カヌーに乗って
ふれあい水路では専用のスロップカヌーを乗り入れることができます。



ボート・マリンジェット昇降
ボートやマリンジェットを昇降するためのスロップ、係留桟橋が利用できます(有料)。

湿地帯でのバードウォッチング
河川沿いの湿地帯では水鳥など自然観察をお楽しみいただけます。

水の郷さわらでは観光船やカヌー、バドウォッチングなど利根川ならではのレジャーが楽しめます。また、マイボートの乗り入れが可能です。



水郷・利根川遊覧船
さっぱ舟やモーターボートに乗って、歴史的町並みや雄大な利根川、与田浦・十二橋・潮来方面を巡ることができます。水郷地域の自然や歴史・文化に触れ、関門の通過なども体験いただけます(有料、期間限定あり)。



買 特産品直売所
香取には美味しいが
たくさんある

ここに集まる野菜はどれも朝採れたものばかり。いつ来ても新鮮でみずみずしい野菜が手に入ります。水郷のお米、果物等、地域の特産品を豊富に取り揃えています。

食 佐原のお食事処
豊富なラインナップ
本格的な味をご提供



「自然観察」
施設の下流域には、貴重な水鳥が集うこともあるサンクチュアリが存在する。湿地へは入ることはできないが、観察用通路から生き物達の自然な姿をそっと観察することができる。



観 総合案内所
地域観光案内
各種利用受付

- 総合案内
- イベント・周辺観光情報
- 各種受付・レンタサイクル・研修室(有料)
- ・水郷・利根川遊覧船(有料)
- ・係留桟橋・昇降スロップ(有料)
- ・シャワールocker(有料)
- ・カヌー乗り場



観光拠点（ゲートウェイ型）

●近接する河川敷とのアクティビティと連携

道の駅「さかい」

茨城県猿島郡境町

○道の駅観光コーナーでは利根川の遊覧船などのアクティビティの受付も行っている。
○道の駅に近接する利根川河川敷には「境リバーサイドパーク」が平成27年7月10日にオープン。様々なアクティビティを行っている。（道の駅さかいから車で約2分）

遊覧船 高瀬舟さかい丸



- ❑ 道の駅では、利根川を遊覧する高瀬舟など、利根川親水域でのアクティビティの受付を行っている。
- ❑ 利根川クルージングツアーを開催。江戸時代の利根川風景に欠かせなかった高瀬舟が、現代によみがえって運航。当時の風流を感じながら、穏やかな利根川をゆったりと遊覧できる。
- ❑ 料金は40分1000円～



- ❑ 自然のなか、セグウェイ体験を楽しめるプラン。
- ❑ 雄大な利根川を眺めながらゆったり楽しんだり、アクティビティに滑走したりと、遊び方も幅広いセグウェイ。タイヤが太いため、スムーズに走ることができる。
- ❑ 河川敷をめぐりながら、インストラクターが利根川の魅力も伝える。
- ❑ 料金は40分3000円～

観光拠点（ゲートウェイ型）

●高速道路施設（SAPA）と連携、近接している道の駅：道の駅みぶ

道の駅「みぶ」

栃木県下都賀郡壬生町

- 北関東自動車道の壬生パーキングエリアと隣接しているハイウェイオアシスであり、高速道路からも利用できる。
- 道の駅みぶは、「みぶハイウェイパークみらい館」や「壬生町総合公園」、「とちぎわんぱく公園」からなる52.4haの大規模な公園でもあり、各種体験施設や「おもちゃ博物館」等がある。



- 周辺にはバンダイミュージアムやおもちゃ博物館などの観光施設がある。
- 観光交流センターは地域の情報発信施設としての役割を果たしている。

④イベントや地域資源の 活用、連携

農業体験

道の駅「アグリパークゆめすぎと」

埼玉県北葛飾郡杉戸町

○収穫体験を通じて農業を学び、豊かな自然とふれあいながら楽しめる道の駅。野菜など特産品の販売や畑での収穫体験ができる。

○遊具や芝生広場、バーベキュー広場があり1日楽しめる。



「収穫体験」
敷地内にある「カントリー農園」では、予約不要で旬の野菜の収穫体験がだれでも気軽に楽しめる。



新鮮野菜や地元のお店から届く総菜やお菓子、埼玉県特産のお米などが並ぶ。大型遊具や夏に水遊びができるじゃぶじゃぶ池、芝生広場には野外ステージもあり、イベントも数多く開催されている。



「稲刈り・さつまいも掘り・餅つき体験」
毎年秋に予約制で行われる。
5月に田植え体験も行われており、自身が植えた稲を収穫することもできる。

イベント

道の駅「おばあちゃん市・山岡」

岐阜県恵那市

○お客様とのふれあいを大切に真心のこもったおもてなし、おじいちゃんおばあちゃんのこだわりの新鮮野菜や手作り品を販売。

○ランドマークの日本一の木製水車、周辺に広がる小里川ダム、四季折々の花が咲きふるさとを思いおこす里山の風景が訪れた人々をほっとさせてくれる。



「日曜朝市」

毎週日曜日に開催される朝市。地元新鮮野菜・山菜・加工品など販売し、新鮮な野菜、山菜などを求めて訪れる都市部の人々との交流の場となっています。



「大やきいも大会」

毎年恒例大やきいも大会では、

- 美味しい大焼きいも
- 地元野菜たっぷりの豚汁
- 焼き立て石窯ピザ

他にもお楽しみコーナー、アトラクション、昔懐かしの竹のおもちゃなど竹細工体験など。また、ゆるキャラも来場。



「おばあちゃん市のお茶会」

恒例となっているお茶会は年に3回(4月、7月、9月)開催されている。

お抹茶と手づくりのお菓子を先着150名様に提供。

地域資源との連携

- ## ●高速道路施設（SAPA）と連携、近接している道の駅、小布施観光へのシャトルバス運行

小布施ハイウェイオアシス 道の駅「オアシスおぶせ」

長野県小布施町

- 小布施パーキングエリアと隣接しているハイウェイオアシスであり、上信越自動車道からも利用ができる。
- シャトルバスを利用すれば、高速道路を下りずに小布施町の観光が可能。
- 小布施総合公園と隣接しており、テニスコートやマレットゴルフ場などのスポーツが楽しめる。



- ❑ 小布施駅周辺には観光資源が豊富にあり、道の駅が小布施観光のゲートウェイとなっている。
- ❑ 隣接している小布施総合公園では、スポーツ利用だけでなく、ドッグランや野外ステージ、噴水広場、遊具アスレチックなど様々なレクリエーション施設がある。

- ❑ 小布施ハイウェイオアシスから発車するシャトルバス「おぶせロマン号」。(好きなところで降りるスタイルなので、自分だけのコースで廻れます。)
- ❑ 小布施の見どころを全部まわり、何度乗り降りしても300円。高速道路を降りなくても、小布施の町をゆっくり楽しめる。一般道からも、混雑する小布施の町中にクルマで乗り入れるより時間が有効に使える。
- ❑ 9:50～17:10 一日7便 毎日運行ではない。

地域資源との連携・里山体験

●地域の農産物の販売、加工：道の駅 どんぐりの里いなぶ

道の駅「どんぐりの里いなぶ」

愛知県豊田市

- 市全体をフィールドとして、自然・里山体験から先進的スマートモビリティまで道の駅を拠点とした様々な体験機会を創出
- 地域の体験観光の総合窓口機能(各種体験の受付窓口・情報発信拠点)を道の駅に集約。



①里山くらし体験館



②稲武どんぐり会館

③三州足助屋敷

④とよたエコフルタウン

- ①里山くらし体験館: エコで自然にやさしい循環型の暮らしの知恵と技を学ぶ
- ②稲武どんぐり工房: 里山に残された自然、農林業、食、工芸などの知恵と文化を体験を通じて伝える施設
- ③三州足助屋敷: 中山間部の農家の暮らしを再現。さら細工や紙すき体験実習を行う施設
- ④とよたエコフルタウン: 次世代の環境技術を集約した全国初の低炭素社会を提案した施設

観光資源のパッケージ化・販売

●一括受注システムによる地域全体での観光振興

道の駅「とみうら」

千葉県南房総市

- 観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行会社へ販売（道の駅が旅行業資格を取得）。
- 年間を通じた日帰り団体バスの誘致に成功。
- 琵琶俱樂部びわクラブが地域の観光資源をパッケージ化し、旅行会社へ販売・地域の総合窓口となる。

- ❑ 道の駅「とみうら」を運営する「株式会社とみうら」の「枇杷俱樂部プロジェクト」は、道の駅とみうら枇杷俱樂部のほか、道の駅おおつの里花俱樂部、苺庭園、枇杷試験所の4つの施設・機関の連携で構成されている。
- ❑ これらの施設の特色は、地域に散在する食堂や農産物・苺・菜の花などの農家や組合を束ねた「一括受注システム」にある。南房総市には核となる観光資源がないため、地域の観光資源をまとめて独自のツアーを組み、観光会社に売るというもの。
- ❑ 株式会社とみうらが第3種の旅行業資格を取得し、地域の窓口として都市部の旅行代理店や交通機関などの外部に対してPRを行い、招致に成功した。
- ❑ ツアーはプログラムに応じて会員事業者に配分し、料金精算にともなうリスクも株式会社とみうらが負う仕組みとなっている。現在は近隣市も含めて約100事業者が参画する。
- ❑ 事業者によってばらつきがあっては旅行代理店などから継続的な受注はできないため、参加事業者には同じ価格でサービス品質を統一してもらうよう指導を徹底している。近年は、隣地に民間の直売所や土産物店ができるなど、地域経済に大きな影響を与えている。



地域資源との連携

●道の駅間でレンタサイクルの乗降が可能・自然と触れ合う道の駅「しょうなん」

道の駅「しょうなん」等

千葉県柏市

- 手賀沼をお手軽に楽しめるレンタサイクルあり。
- 本道の駅をはじめ、県内5か所のレンタルステーションならどこでもかりてどこでも返せる(土日祝日のみ)

天気の良い日には、手賀沼の風を感じながらサイクリングがおすすめ。貸出場所は5か所あり、どこでも返却できるので気軽に周辺の観光スポットをめぐる。



「ぐるっと手賀沼めぐり」

開催予定日: 7月23日から11月27日までの土日祝日の駅しょうなんと手賀沼フィッシングセンターを水上バスとシャトルバスで結ぶ。水上バスは約30分の乗船で、船頭さんによる楽しい解説つき。手賀沼フィッシングセンターではニジマスやアユのつかみどり体験。シャトルバスでは野菜などの収穫体験もできる農園に立ち寄るなど、手賀沼の魅力を思いっきり満喫できる。



地域資源との連携

●コミュニティバスによる周遊観光

道の駅「恐竜渓谷 ジオパーク」

福井県勝山市

○県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点として、コミュニティバスによる周遊観光を実施
○勝山市の新たな玄関口となる中部縦貫自動車道勝山ICのアクセス道沿いに「道の駅」を設置することで、これまでの拠点のみの訪問から着地型観光の展開を図る取り組み



□市内10地区のそれぞれの特色を活かし、「まちまるごとジオパーク」として周遊ツアーを実施。

□コミュニティバスを運行することで、世界三大恐竜博物館である「福井県立恐竜博物館」の訪問者をジオパークや九頭竜川などの地域資源等へ誘客することができる。

□都市住民を呼び込むツーリズム事業を展開することで、都市との交流を促進。また、高齢者などの交通弱者の利便性も向上。

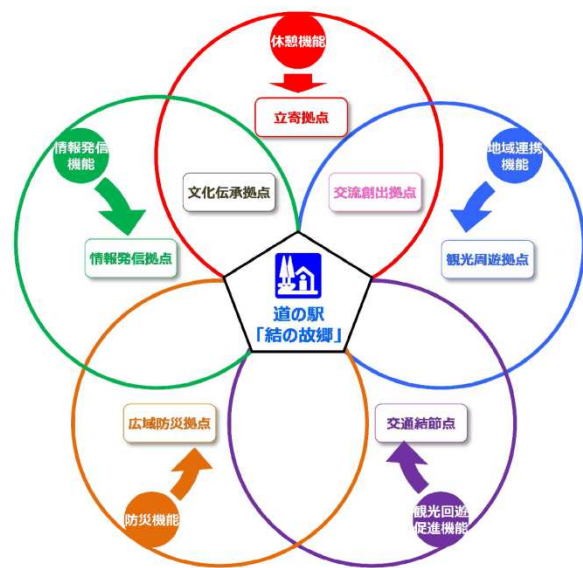
地域資源との連携

●地域全体の観光案内機能を駅に集約

道の駅「(仮称)結の故郷」

福井県大野市

○中部縦貫自動車道大野東ICの真正面に位置し、越前大野城や化石等の地域資源を情報発信することで、ここを出発点として市内の回遊を促す「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核として整備
○朝市等の地域情報や地域の観光案内、化石発掘等の体験や四季を通じた山歩き情報等を総合的に提供し、シャトルバス等での市内への誘客、交流人口の拡大を図ることで地域を活性化



イメージ

道の駅での様々な体験を通じて、地域へいざなう『回遊促進型』の道の駅を目指す。

◆シャトルバス等停留所

- 市内への回遊性を促進するため、バスの停留所を整備
- 観光客の動線を優先し、建物前面に停留所を整備
- 観光客に対して大野市内や荒島岳の登山道への立寄りを促す施設として、シャトルバスを計画
- 東海北陸自動車道や北陸自動車道を経由した高速バスを誘致
- 高速バスの停留所を設け、観光客を大野市の玄関口として市内への誘導を促す

◆レンタサイクル

- 観光客に対して道の駅「結の故郷」周辺等市内観光を促す施設として、レンタル自転車を計画
- レンタサイクルの利用促進を図るため、サイクリングロードや観光回遊ルートなどを記載した観光マップを計画

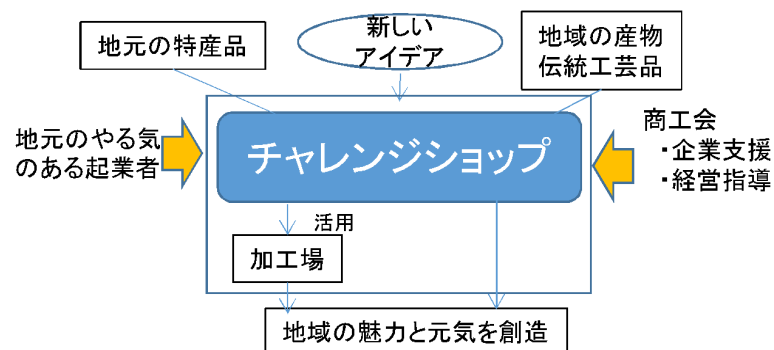
起業支援

●起業や商品開発をサポート

道の駅「浅井三姉妹の郷」

滋賀県長浜市

○道の駅の共同販売施設内に、地域資源を活用して開発した特産品や加工品等をテスト販売するための「チャレンジショップ」を設置。企業や商品開発をサポートし、地産地消型産業の振興を図る。
○スマートIC開通に応じた着地型観光基地として、ヒトとモノの交流を行い地域活性化を目指す。



- 新たに起業を目指す方や地域内の中小企業・小規模事業者を支援。新たな名物や特産品を生み出す機会を増やす。
- 施設内には農産物加工室を設置し、特産品の開発を推進。地元の農家にも参加してもらうことで、新鮮でおいしい野菜にさらなる付加価値の向上が期待できる。
- 商工会が経営指導や企業支援などのサポートを行う。既に起業している利用者に対しても商工会が商品PRなどの専門的なアドバイスを行うことで、質の高い商品を企画することができる。

女性スタッフの活躍

●女性活躍の場、夕陽と日本海が眺望できる絶景を活かし、地域交流の拠点再整備

道の駅「ゆうひパーク浜田」

島根県浜田市

○島根県内で唯一山陰道に直結する道の駅、夕日と日本海が眺望できる絶好のロケーションを活かし地域交流の拠点を再整備

○女性スタッフを中心に、女性の嗜好に合わせた施設内外装のリニューアルを実施。女性スタッフ増強による雇用機会創出を行う

○「道の駅」を地域の女性・若者の交流拠点、地域産品のグルメスポット、石見の縁結びスポットとして、イベント開催や地域情報を発信

レンタルスペースを活用して体験会・教室等を実施。

◆パステルアート教室

パステルアートとは、パステルという素材の特性である穏やかで温かみのあるトーンとそれをパウダー状にして指で描く技法。1枚30分程度でだれでも簡単に描けて、素朴で透明感が感じられる心地よいアートに仕上がる。

◆ヨガ教室

ゆっくりとした深い呼吸法でリラックスしながら体をほぐし、月のリズムに合わせたポーズを取り入れた女性に優しいヨガを体験できる。

